

【C問題】

◎1から30までの問題は低・中学年の問題と同じです。そちらを見てください。

3 1、杉原川は、杉原谷に15ある村のほとんどの村を流れていますが、たった一つ村だけ流れいません。それは次のどの村でしょう。

- 1 三谷 2 市原 3 門村

3 2、清水の雲門寺の裏山にある池をなんというでしょう。

- 1 小池 2 高山池 3 山城池

3 3、茎には鋭くとがったトゲがたくさんある木で、新芽を天ぷらにして食べるとおいしいといわれる木は次のどれでしょう。

- 1 モミノキ 2 カシノキ 3 タラノキ

3 4、学校と同じ市原の村にある寺です。何という寺でしょう。

- 1 浄土寺 2 専浄寺 3 極楽寺

3 5、大化の改新を行った藤原鎌足がまつられている神社があるのはどこの村でしょう。

- 1 轟 2 箸荷 3 大袋

3 6、丹治には天狗が飛んだという言い伝えがあり、東側の山の中には大きな岩があります。この岩はなんと呼ばれているでしょう。

- 1 天狗のうちわ 2 天狗の足跡 3 天狗の衣

3 7、昔、杉原紙は別の名前で呼ばれていました。次のどの名前でしょうか。

- 1 但馬紙 2 播磨紙 3 丹波紙

3 8、コウゾの白皮を丸一日川につけておくのは、何のためでしょう。

- 1 やわらかくするため 2 強くするため 3 白くするため

3 9、北部体育館の前庭には、山口茂吉の歌碑（短歌を彫り込んだ石碑）があります。ここに彫られた短歌は次のような短歌です。「春の雪峯降りしつつ寒からむわがふるさとの〇〇を思へば」 〇〇に当てはまる言葉は次のどれでしょう。

- 1 山 2 里 3 村

40、室町時代、武士の社会では、贈り物をする時には必ず杉原紙とあるものをセットで贈る習慣がありました。それは为什么呢。

1 お金

2 刀

3 扇（扇子）

◎ ここからは、記述式の問題です。解答用紙に答えを記入してください。

41、杉原川の西の山の麓に家が集まっていることから、このように呼ばれるようになった村は、どこの村でしょう。

42、杉原紙を作るのに原料として、コウゾの皮を使いますが、もう一つ原料として使うものは何でしょう。

43、昔、この村は杉原川に沿った道と丹波や但馬から峠を越えてきた道が交わるところにあったので、各地から人が集まり、とてもにぎやかだったことからこの名前がついたと言われています。さて、次のどの村でしょう。

44、ある武将が、安土城の織田信長を訪ねたときに、杉原紙を贈ったという記録が残っています。その武将とは次のどれでしょう。

45、郷土の歌人、山口茂吉はどこの村で生れた人でしょう。

46、山口茂吉は小学校卒業後、神戸を経て東京に行き、苦勞して働किながら勉強し、大正13年東京にある大学を卒業しました。どこの大学を卒業したのでしょうか。

47、方言の問題です。「ぼちぼちしまいごとでしょうか。」のしまいごととは何のことでしょうか。

48、観音寺の山の中腹にある目の病気に「ごりやくがある」といわれる神社の名前は、つぎのどれでしょう。

49、方言の問題です。「てのこぼ」とは何のことでしょう。

50、次も方言の問題です。次の一文を訳してください。

「かえだ（かえら）のかだがするけど、ちーとのまこらえてよ。」

